



中倉山山行報告

【山行日】2018年 5月 29(火) 晴れ
 【集 合】栃木市運動公園 AM 5:30
 【費 用】マイカー1台 : 1,800円
 【メンバー】CL: 鈴木、石川、大西、関、
 【コースタイム】栃木市運動公園P5:30＝銅親水公園 P6:40/7:00～中倉山登山口 7:50/8:00
 ～1272m地点 8:50/9:00～中倉山 9:30/9:40
 ～沢入山 10:40/11:00～小ピーク 11:45/12:15
 ～孤高のブナ 12:35～1272m地 12:50/13:00

～中倉山登山口 13:40～銅親水公園 P14:30/14:40＝栃木市運動公園P16:05

5/29(火)に中倉山に登りたいとリクエストがあり、我輩も以前から登りたいと思っていたので二つ返事で引き受けた。アカヤシオの花が綺麗な山と聞いていたが、今年は2週間前に終わってしまったようだ。それでも展望の稜線歩きと、『孤高のブナ』や『波平ピーク』等見どころ満載で登降意欲をそそられる。往路は時間短縮の為、東北道から日光宇都宮道を利用し銅親水公園駐車場に着く。

4月21日に足尾植樹デーで来たばかりの駐車場だが、トイレは離れているので手前の赤倉の公衆トイレを利用すればよい。準備を整えストレッチを済ませ出発する。道路に出て左に進み、直ぐにゲートをくぐって治山工事用の道路を進む。すぐに左折して久蔵沢を渡し、道なりに進むと松木沢への分岐になり左に進んで松木沢を渡る。水道橋をくぐり仁田元沢沿いに林道を西に向かって登って行く。途中、単独行の男性が待っていて、中倉山の登山口を聞いてきたが「初めてなので詳細は解りません」と言うので先に歩いて行った。林道の脇にはエニシダの花や、ピンクの外来種の花が咲いていて目を楽しませてく



れる。ネットで見ると、登山口が解りにくいと書いてあるが、今や立派な登山口の標識が掛けられ、ピンクのリボンや鹿の頭蓋骨まであり一目で解るようになっていた。ひとまず安心して休憩を取り、衣服調整して水分を補給する。ここから1272m地点までの登りが、このコース一番の難所と書いてあるので、気合を入れて登り始める。確かに急坂で滑りやすい登山道だが、ストックを使って慎重に登ればそれほど難しい登りではない。難所と聞いて負けず嫌いのO嬢に火が付き、ガシガシ登り後からついて行く3名はタマランチ。

汗を拭き拭き O 嬢を追いかけて、いっきに1272m地点まで登り切った。木陰で休憩しキーウイや菓子を食べっていると、オジサンが一人で登って来た。声を掛けるとやはり初めて登るようで、我々の



前に行こうとしない。ここからは緩やかに登り小ピークを越えて下ると左側の展望が開ける。鞍部からは再び急坂になり、北側に半月山から社山、男体山等日光の山々が見えてくる。1499mピーク手前からヤマツツジの赤い花が目立つようになり、ピーク付近はヤマツツジの花で埋め尽くされていた。

ここから大展望の稜線歩きが始まり、足下に荒涼とした松木沢、その向こうには日光連山見え、前方に皇海山が望める。ルンルン気分で稜線散歩を楽しみながら、今日お目当

ての中倉山山頂に着く。山頂のケルンに中倉山の標識が立ち、その脇に新しい標識が付けられていた。山頂で記念写真を撮っていると、林道で待っていた単独行の男性が登って来て、「あれッ何処を登って来たんですか？」と聞かれ「登山口から登ってきましたよ」と言うと「じゃあ登山口が違っていたのかな」と言っていた。どうやら登山口手前から登ったらしく、けもの道に近い道で大変だったようだ。オジサンもここまでくれば安心したらしく、先行して沢入山へ向かって下って行った。のんびりと景色を楽しみながら休憩し、大展望を心ゆくまで堪能する。元気を貰ったら沢入山に向かって出発する。気持ちが良いササ尾根を下ると、鞍部に1本のブナの木があり「孤高のブナ」である。ここから少し登り痩せた岩稜を下り登り返すと波平ピークに出る。ピークにケルンが積まれ、そこにヒョロヒョロと枯れ枝が差しており波平さんの頭のような。



さらに展望の稜線を歩き、沢入山山頂に着いた。先行した二人のオジサンは、山頂の先で仲良く昼



食を食べていた。我々も山頂で記念写真を撮り、山頂から少し先の展望所まで行く。正面には鋭く聳える皇海山、左にはヲロ山と庚申山、右には上州武尊山や日光白根山がくっきりと見える。眺望を楽しんだら往路を戻り、沢入山の先の小ピークの木陰でランチタイムとする。本日の山ご飯は、皆さんが好きな焼きそばにした。日差しが強く暑かったので、焼きそばにして正解だった。出し巻き卵やスナップエンドウなどが並び、美味しいランチをいただいた。

ここからも往路を戻り、波平ピークの先からは水平道を歩き、孤高のブナで休憩すると若者のパーティーが降りてきた。挨拶を交わし、さらに水平道を下って行く。水平道はヤマツツジが咲き乱れ、



「この道を下って良かったね」と大喜び。中倉山を登り返すことなく下れ、彩かなヤマツツジの中を歩き超得した気分だ。1272m地点まで戻り休憩し、冷たいヨーグルトで喉を潤す。最後の急坂を慎重に下り、無事に登山口まで降りてきた。そこからの林道歩きは暑くて閉口したが、長年登りたいと思っていた山に最高の天気で登ることが出来、リクエストしたI川さんに感謝した。駐車場に戻り、靴を履き替えたらず路につく。赤倉の公衆トイレに寄り、帰路は粕尾峠を越え大越路トンネル経由で帰り栃木市運動公園に1時間早く帰着することが出来た。

